



## 御神渡りダンス 考えたよ

諏訪・中洲小5年生  
舞踊家の指導受け

諏訪市教育委員会は13日、現代舞踊協会(東京)に所属する舞踊家10人を講師に迎え、同市中洲小学校で創作ダンス体験教室を開いた。受講した5年生99人は4グループに分かれ、午前中は体育館で諏訪湖の「御神渡り」をテーマにダンスを創作。午後には近くの諏訪大社上社本宮で観光客らに披露した。

児童は、大勢で両手を広げ

腕をつないだまま順に体を上げ下げして諏訪湖の波を表現する児童たち

て走り回って風を表現したり、氷の亀裂を表すために腕を伸ばして重ね合わせたりと、どんどんアイデアを出して振り付けを決めた。神様役の矢崎正人君(10)は「動きを工夫して物語を表現するのが楽しかった」と話した。

教室は諏訪市出身の世界的な舞踊家、新村英一(1897~1979年)の功績を広める目的で一般向けに2013年から、市内の小学校で16年から、それぞれ年1回ずつ開いている。今年の一般向け教室は14日であり、午後1時半ごろから上社本宮でダンスを披露する。



諏訪市教育委員会は13日、中洲小学校5年生を対象にした創作ダンス体験教室を同校と近くの諏訪大社上社本宮で行った。同市出身の世界的舞踊家、新村英一(1897~1979年)の生誕120

周年記念事業の一環。児童99人がプロの舞踊家から指導を受け、諏訪湖の御神渡りをテーマにオリジナルのダンスを創作し、本宮神楽殿で発表した。  
市内の小学生を対象にした体験

## 上社で御神渡りダンス 諏訪市教委 体験教室

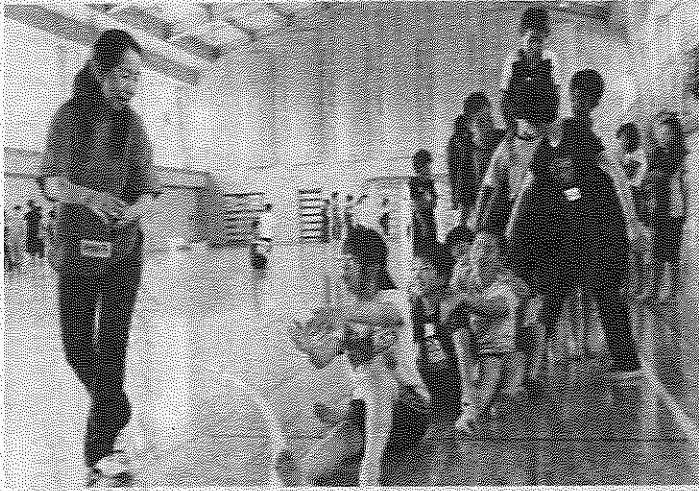
教室は今年で3年目。講師は舞踊家で第20回ニムラ舞踊賞を受賞した加藤みや子さんらプロの指導家10人が務めた。4グループに分かれた児童たちは御神渡りの言い伝えなどを学んだあと、同校体育館でダンスの振り付けの構想を練った。

発表は各グループが8分ほどにまとめたダンスを本宮神楽殿で披露。御神渡りの水のせり上がり足を使って表現したり、男神が女神に会いに行く場面を演じたりしていた。

石原奏登君(10)は「創作ダンスは初めてだったけど、きっちり踊れて良かった。神楽殿で踊れたのもいい思い出になった。また機会があれば創作ダンスに挑戦したい」と話していた。

14日も一般者を対象にダンス体験教室が開かれ、同日午後1時30分ごろから諏訪大社上社本宮で発表する予定。(奈良竜也)

上社本宮神楽殿で、御神渡りをテーマに創作したダンスを披露する中洲小5年生



アドバイスを受けながら御神渡りのダンスを考える中洲小の5年生

# ダンスで「御神渡り」表現 中洲小5年生が挑戦

## 新村英一の志 未来につなぐ

諏訪市教育委員会は13日、諏訪市出身の世界的舞踏家、新村英一(ニムラエイイチ、1897-1979年)の志を未来につなぐ「五感の創作ダンス体験教室」を中洲小学校で開いた。5年生約100人が「御神渡り」の創作ダンスに挑戦した。

ニムラの故郷・諏訪市で、表現することの楽しさを子どもたちが発見するワークショップとして2013年度

から続ける。毎年輪番で小学校1校で実施し、全市対象の教室も開いている。

舞踏芸術に功績があった人に毎年贈られる「ニムラ舞踊賞」受賞者の馬場ひかりさん、加藤みや子さんらが指導。約1時間かけて体をほぐした後、グループワークで御神渡りの伝説を基にしたダンスを考えたと。児童たちは「御神渡りの音を出したい」と足で床をたたいてみた。組み体操で湖を渡る神様やこっこつとし

教室を皮切りに、講演 予定する。 会や現代舞踊の公演を

市教委は本年度、新村英一生涯120周年記念事業を企画。体験

諏訪市出身の世界的舞踊家・ニムラ エイチの意志をつなぐ

# 諏訪市創作ダンス体験教室

平成30年7月13日(金)・14日(土)

1日目 中洲小学校、諏訪大社上社本宮

開講 (講師紹介)



カラダほぐし ～カラダしなやか、ココロリフレッシュ!～



作品づくり ～『御神渡り』をカラダじゅうで表現してみよう!～





発表 ～『御神渡り』をカラダじゅうで表現してみよう！（諏訪大社）～



2日目 カルチャーホームすわ、諏訪大社上社本宮

開 講

カラダほぐし ～カラダしなやか、ココロリフレッシュ！～



作品づくり ～絵本をカラダじゅうで読んでみよう！～



発表 ～絵本をカラダじゅうで読んでみよう！（諏訪大社）～

